

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也
[http://www.s-kinder.com /index.html](http://www.s-kinder.com/index.html)

●9月のひとコマ



<台風一過:な~もの森の清掃>



<消防署立会避難訓練>



<運動会活動>



<GENKI会で作品作り>



<年長児:泥団子作り>

台風一過の青空に

9月の初旬の大型台風10号上陸。過去に上陸した大型台風では、3~5歳児用のプールが風でひっくり返されるという被害もあったため(15年以上前の出来事ですが)、プールの一杯に水を貯めておいたり、遊具は移動・転倒しないように巻き付けておいたりと対策を行いました。

とはいえ、相手は「過去最大級」「命を守る行動を」「逃げ遅れる前に早めの避難」と、繰り返し報道されるほどの超大型台風です。もはや何が起きるかも想定が付かないので、一度落ち着いて辺りをぐるっと見回して「とりあえず何が起きても後悔しないくらいの対策をしておこう」と決めました。

園庭やな~もの森は、プランターや鉢を室内に移動させたり、砂場道具などの小物を倉庫内に収めたりという対応をすでに先生たちでしてくれていたの、園内をあちこち見回してみると、まず目についたのは職員室にあるパソコンやタブレット。飛来物で窓ガラスが割れるかもしれないし、川内川が氾濫したら・・・と、考え出すとキリがありませんが、保育日誌や子どもたちの記録などと一緒にパソコンやタブレットなどを2階に退避させました。そして、有事の際のために備蓄している非常食の量を確認するなどして、いつも以上の態勢で台風に臨みました。

そして、台風上陸。日が変わる頃になって、急に強い風が吹き始めました。眠りについていたはずの娘も一度目を覚ましてしまうと、びゅーびゅーと吹きつける風の勢いに怖さを感じてか、なかなか寝付けられない様子。ただただ布団の上でじーっとやり過ごすしかないという無力感の中、長い長い夜を過ごすのでした。

そして、寝たのか、寝てないのかもよくわからないまま朝を迎えました。(覚えていないくらいなので、もしかしたら熟睡していたのかもかもしれません・・・)。あれほど怖さを感じた窓の外は昨夜とは打って変わって、台風一過の青空が広がっていました。

「過去最大級」という言葉に怯えながら生活したことが、当たり前前の日常が訪れることのありがたさをかえって強く感じさせてくれました。よくよく考えてみれば、自分の周囲を取り囲む環境すべてが、「いつもあって当たり前」のものなど、何一つないのかもしれませんが。無常の日々だからこそ、「大きな喜びがなくとも、ささやかな喜びを感じながら毎日を歩んでいくんだよ」と教えられた気がします。